

2022年4月7日

各位

三井住友ファイナンス&リース株式会社

中長期環境目標の設定について

三井住友ファイナンス&リース株式会社（取締役社長：橋 正喜、以下「SMFL」）は、中長期環境目標として自社が排出する温室効果ガス（Greenhouse Gas、以下「GHG」）排出量*の削減目標およびビジネスにおける取組目標を設定しました。これらの目標の達成を通じて、気候変動問題に積極的に取り組み、脱炭素社会・循環型社会の実現に貢献していきます。

地球温暖化が進む中で、世界規模で気候変動問題への対応が喫緊の課題となり、国や地域そして企業がGHG排出量削減の取り組みを推進しています。日本では2021年に政府が「2050年迄のカーボンニュートラル実現」を法制化し、各企業において脱炭素経営の動きをさらに加速させています。このような状況下、SMFLは、「脱炭素・循環型社会の実現」に向けた中長期環境目標を策定しました。この目標の達成を通して、社会の持続的な発展に貢献していくとともに当社の持続的な成長を目指していきます。

今般、策定した中長期環境目標は以下3点です。

目標1：2023年度迄にSMFL（単体）における国内GHG排出量（Scope1およびScope2）ネットゼロを達成

- ◆ Scope1：社用車の保有台数・保有形態の最適化やFCV、EVやHVへの切り替えなどによりGHG排出量削減を図り、ネットゼロの達成を目指す
- ◆ Scope2：戦略子会社、SMFL みらいパートナーズ株式会社が所有する太陽光発電設備が創出する非化石証書を取得し、全ての使用電力を実質的な再生可能エネルギー化することで、ネットゼロの達成を図る

目標2：2025年度迄にSMFLグループ（連結）におけるGHG排出量（Scope1およびScope2）ネットゼロを達成

- ◆ SMFLの海外支店、海外現地法人やグループ会社に対象を拡大し、GHG排出量削減およびネットゼロに向けた施策を実施する

目標 3：2029 年度迄に契約額で累計 1 兆円のサステナブル関連ビジネスを通じた脱炭素化への貢献

- ◆ サステナブル関連ビジネスにさらに注力し推進することで、企業の脱炭素化支援し、社会における脱炭素化を支援していく
- ◆ 太陽光・風力・水力・バイオマス等各種再生可能エネルギー事業によるクリーンエネルギーの供給拡大、環境配慮型不動産開発の推進、産業廃棄物の削減・適正処分等 3R（リデュース、リユース、リサイクル）事業の一層の推進により、2029 年度迄に累計 1 兆円の契約を実行していく

SMFL は、経営理念・方針・価値観・基本姿勢を示す「SMFL Way」において、自社の目指す姿・ありたい姿として「SDGs 経営で未来に選ばれる企業」を掲げ、「環境」「次世代」「コミュニティ」「働きがい」の 4 つを重点課題に設定し、全社活動として SDGs に取り組んでいます。SDGs 経営では、社会課題に正面から取り組み、未来に向けて社会の持続的な発展に貢献し、次の世代に選ばれる企業を目指していきます。

※研究機関、政府機関、企業、NGO 等が参加している国際的な組織である「GHG プロトコルイニシアチブ」が策定した GHG 排出量の算定と報告の基準。企業活動において排出される GHG は以下の 3 つのカテゴリーに分類される。

Scope1：事業者自らの直接排出

Scope2：他社から供給された電気等の使用に伴う間接排出

Scope3：事業者の活動に関連する他社の排出（金融機関の場合は投融資先の排出）

以 上

【お問い合わせ先】

三井住友ファイナンス&リース株式会社 広報 IR 部 山本 TEL 03-5219-6334